

HCC
TIMES

豊泉家

ASSISTED LIVING HOMES
&
COMMUNITIESVol.268
2025 10

豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚3-2-1
TEL:0120-294-998
<https://www.housenka.com/>
編集元: マーケティング部 瀬戸根 将成
2025.10.1 発行

医療法人成和会
イノベーション

日本の病院経営は、現在厳しい経営状況にあり、直近の調査では全国の病院の約7割が赤字であるという報道が出ています。特に自治体病院では赤字が9割となつています。

主な要因については、インフレによる人件費や医療材料費などの費用の上昇、診療報酬がインフレによるコスト増に追いつかない、医療従事者の確保の難しさなど多様な要因により、一時的な経営危機ではなく、構造的な経営の脆弱さが指摘されています。

当法人は、そのような厳しい病院の経営環境においても、地域医療を守るために継続経営、計画経営を実行しなければなりません。病院を経営するということは、単に医療を提供する機能を維持することではありません。それは、地域社会の未来を構想し、そこに生きる人々の暮らしと命を支える、土台を創り上げるという、極めて創造的かつ責任の重い仕事であると受け止めております。

将来の医療構想と
病院経営の関係性について① 病院機能の明確化と
役割分担の強化

病院ごとの担うべき役割をより明確にし、入院医療だけでなく外来・在宅医療、医療と介護の連携まで幅広く対応する体制が求められています。

自院の強みを活かして地域の中でどのような役割を担うのかという戦略的な視点が不可欠になります。

② 人口減少・高齢化による
需要変化への対応

人口減少、少子高齢化、働き手不足。日本の地域社会は、今まさに大きな転換点に立たされています。その中で、病院が果たすべき役割は変わらなければならない。

③ 競争から協調・連携へ

地域の責任を病院同士が共同して担う時代となり、競争から協調、さらに包括的な連携や統合も視野に入れた経営が重要となります。

単独ですべてを担うのではなく地域全体で医療資源を最適化する動きが強まります。
↓2025年7月に国立循

④ 人材不足への対応
病院経営の効率化やICT活用、業務の見直し、医療需要の減少や社会保障抑制の中で経営戦略も柔軟に考えていく必要があります。

地域に根ざした病院経営は、雇用の創出や人財育成にもつながります。医療従事者が誇りをもて働ける環境を整え、地域に信頼される組織づくりを進めることが、ひいてはその地域の魅力向上や人口流出の防止にも寄与します。

⑤ 高齢化による複合的な医療・
介護の需要への対応

85歳以上の高齢者が急増し慢性疾患や複数の疾患を持つ人が増加するため、急性期医療だけではなく回復期、在宅・介護までを包括的に支えることが必要となります。

上記を踏まえ、大きく変化が求められる医療・病院経営と社会課題に対して少しでも貢献するための当法人の取り組み内容を二部ご紹介させていただきます。

外来健診・人間ドックセンター
リニューアル

2025年7月末にて北大阪ほうせんか病院外来エリアのリノベーションが完了いたしました。診察室や処置室、各種検査室がリニューアルされ、環境が大きく変わりました。また「認知機能専門外来」のエリアも新設され、早期の認知症治療が実施できるようになりました。



また「健診・人間ドックセンター」を開設いたしました。外来や入院患者さま、一般の方との接触をできるだけ避けることができるよう、エリアを分けて整備いたしました。年間10,000人の方が健診を受けていただける体制を構築し、企業に勤める職員の方の健診や個人でカスタ

マイズしていただけるオプションも含めた人間ドックもご用意しております。病気の早期発見が「生命予防」となります。健康を維持し自立した日常生活を営む上において、定期的な健診をお勧めいたします。

高齢者救急
本格スタート

2040年には、85歳以上の高齢者の人口が1,000万人を超える見込みになっており、今後ますます高齢者の救急搬送が増えることが予測されています。

当院がある茨木市においては、救急搬送者が年間約18,000人であり、その内95%以上が軽症及び中等症の搬送となっています。しかも近隣市である高槻市・吹田市にある医療機関への搬送が55%以上となっており、茨木市における救急医療の受け皿が少ないという現状になっています。

また介護施設など的高齢者の緊急時の受け入れを積極的にできる医療機関も少ない状況であり、特に転倒骨折や誤嚥性の肺炎、尿路感染など介護施設などでよく見られる疾患に対しても積極的に対応することができる救急医療の医療機関も少ない状況となっています。このような課題に対し、少

しても貢献できるよう「北大阪ほうせんか病院」において、365日体制で受け入れができる「高齢者救急」を本格的にスタートさせます。

LaBost(ラボスト)
郵送検査事業スタート

LaBostは、Laboratory Test(臨床検査)とPOST(郵送)を組み合わせた郵送検査サービスです。病院やクリニックに行かなくても、自宅で検体採取し郵送するだけで検査が可能になります。現在販売中の「APOE遺伝子検査キット」では、アルツハイマー型認知症の発症リスクに関与するAPOE遺伝子を調べることができます。

世界的医学誌「Lancet」の研究によると認知症発症リスクの45%は予防可能との報告がありましたが、その具体的な予防策もあわせて検査結果をお届けすることができ

ます。今後LaBostでは、さまざまな疾患の早期発見・早期治療に繋がれるよう「Wellness for Tomorrow(明日の健康を支える)」をモットーに多様なサービスを展開してまいります。



結びに、当法人は未来にかなげるために挑戦し続けてまいります。病院の枠を超えて、地域全体の課題解決や価値創造に取り組むこと。また健康管理・治療のみならず、福祉・介護まで総合的にコーディネートできる体制づくりにチャレンジすること。これまでに以上に皆様に信頼され、地域医療を支えることができる病院として、「ほうせんか病院」並びに「北大阪ほうせんか病院」に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。失われた30年と言われた時代から大きく時代が変わり、これからの30年に向けて、引き続き「愚直に、地道に、徹底的にやり続けること」を大切に、しかし固定観念にとらわれず変化に挑戦してまいります。

2025年10月1日

医療法人成和会
副理事長 樋口昌克

HCC北緑丘

夏祭り

8月21日(木) 特別養護老人ホーム豊泉家 北緑丘にて「8月イベント『夏祭り』」を開催いたしました。

今回は、演歌歌手の中峰美由緒と、盆踊りを披露いただき、夏祭りの雰囲気を感じていただきました。

中峰様には、お祭りにぴったりの「東京音頭」や「お祭りマンボ」などを披露いただき、皆様は拍手をしながら楽しく歌われていました。



胡蝶様は、輪になって「炭坑節」や「ドンパン節」などを披露され、ご入居者も輪の中に入って一緒に踊ったり、その場で手振りを真似されたりして楽しんでいました。



会場では、「盆踊り久しぶりやけど覚えてるもんやねー」と楽しそうに踊られていたり「わっしょい! わっしょい!」と合の手を入れたり、終始大盛り上がりでした!

今後も、皆様に季節を感じながら楽しんでいただける企画を提案してまいります。

記者・北村 美果

HCC桃山台

ビアガーデン

京都水族館へ行く

8月21日(木) アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台にてビアガーデンを開催いたしました。夕日を眺めながら、リタコートにてお食事を召し上がったいただきました。

お食事はバイキング形式でご提供し、ピザや焼きそばといった定番メニューのほか、シーフードマリネやソーセージの盛り合わせ、夏野菜のトマト煮など、お酒にも合うおつまみをご用意いたしました。

また、お食事の提供をお待ちいただき間には、皆様にお菓子のつかみ取りに挑戦していただきました。遠慮がちに「1つで良いよ」とおっしゃる方や、ご入居者同士で、何個つかめるか勝負されている方もいらっしゃいました。

そしてエンターテインメントとして、箕面よさこい踊り子隊の皆さんをお招きし、よさこいをお楽しみいただきました。会場は、一気に夏らしい雰囲気になりました。大盛況となりました。ご参加いただいたご入居者からは「よさこい見てたら楽しすぎて食事するのを忘れてた」「やっぱり夏って良いね」などのお言葉を頂戴いたしました。

今後も、皆様に四季折々のイベントを愉しんでいただけるよう努めてまいります。

記者・摺石 奈々



HCC住之江

住之江「ミニ」の夏 2025

住之江コミュニティでは、2025年も楽しい夏となりました。8月19日(火)は「流しそめん」を実施し、8月27日(水)には「夏祭り(夕涼み会)」を開催いたしました。

流しそめんは、本物の竹を使用し、本格的なもので、ご入居者さま利用者の皆様に大変喜んでいただきました。暑い日差しの中、冷たいそうめんがとっても風流で、思わずたくさん取ってしまう方もいらっしゃいました。



また、夏祭りではケアハウス豊泉家 住之江のご入居者も、盆踊りと花火を愉しみました。こちらも本格的なやぐらを組み立て、地域の踊り子さん10名をお越しいただき、炭坑節や河内音頭を全員で一緒に踊ることができました。楽しく踊った後は花火大会を実施。夏の夜にきれいな花火が舞い上がり、思わず歓声が上がりました。



住之江コミュニティでは、今年もたくさんの方のイベントで夏を満喫し、2025年も素敵な夏になりました。

※流しそめんは、衛生面に十分配慮して実施しております。

記者・清水 謙介

HCCチャレンジド

オリジナルキーホルダー作り

豊泉家チャレンジドセンター 豊中 箕面では、8月のクラブ活動として「オリジナルキーホルダー作り」に取り組みました。

今回の工作では、レザー製のキーホルダーをベースに、色とりどりのビーズ、華やかなオーガジリボン、立体的なセーデルなどを自由に組み合わせ、オリジナルのキーホルダーを作りました。シンブルなものから、キラキラと輝くアクセントたっぷりのものまで、世界にたった1つの自分だけのキーホルダーが次々に完成!



皆様それぞれ好みのレザーキーホルダーを選び、飾りつけも個性性的!!

シンブルさを基調としたものから、余白の部分がないくらいデコレーションを施したものの、色にこだわったものなど「自分らしさ」を大いに発揮できた素晴らしい時間となりました。「いいのが出来た」と、たくさんの方の笑顔を見せられました。



これからも「楽しく体験実践」をモットーに、さまざまなクラブ活動を行っていきます。

記者・浅井 隆太

HCC茨木

病院で楽しむ、暑い甲子園!

8月15日(金)から21日(木)までの1週間、ほうせんか病院 緩和ケア病棟では「甲子園」には行けなくても、球場の熱気を感じてもらいたい」という想いから、高校野球観戦イベントを開催しました。期間中、スカイコートは熱戦を見守る、応援会場へと早変わりし、連日熱気に包まれました。

この1週間、遅い早朝の6試合を観戦。ノンアルコーンビールやハイボールを片手に、患者さまは画面越しに声援を送り、エラーやランアウトに、患者さまは画面越しに声援を送りました。白熱する試合展開に自然と歓声が湧き上がりました。会場は活気にあふれていました。



特に、最後まで諦めずに全力でプレーする球児たちの姿は、観戦された皆様たちの感動と勇気を届けてくれました。「頑張る姿を見て元気さもらいたい!」という患者さまの願いどおり、数々の感動的なドラマに会場には温かい拍手が響きました。



今後も、患者さまが心から愉しみ、感動を分かち合えるようなイベントを企画開催してまいります。

記者・岡村 由佳

HCCキッズクラブ

夏祭りごっこを楽しみました!

暑い夏も元気いっぱい過ごしたキッズクラブの子どもたち。そんな夏の終わりに、みんなで夏祭りごっこをしました。

「お面作り」「金魚すくい」「粉ものコーナー」「ボール転がし」のブースを用意。お面作りでは、大好きなキャラクターの目と鼻をつけ、オリジナルのお面が完成。金魚すくいでは、カラフルな金魚を一生懸命すくっていました。ボール転がしでは、ストライクを狙って大盛り上がりでした。



そして1番人気だったのは、お好み焼きコーナー。最初はお客さんになって食べるまわつてを楽しんでいたり、子どもたちでしたが、いつの間にかお店屋さんに変身。コテでお好み焼きをひっくり返し、トンガでネーゼのトッピングまで完璧! そして最後は、作ったお面を被って、みんなで盆踊り♪楽しい夏の思い出ができました。

記者・村山 淳子



全員参加型 フェロー採用プロジェクト

プロジェクト期間
2025年9月1日～2026年3月31日

フェロー
推薦特典
入職で
最大**20万円**

募集中の職種はコチラ▶
フェローポータル上で
更新されます

みんなの力で
フェローも豊泉家も
Win-Winに！

プロジェクトのFAQはコチラ

ご推薦は専用フォームから▶

ACドメイン	テーマ
①芦屋Co ケアハウス・DS合同★	元気なうちからCCRCで叶える継続利用の 価値と満床稼働への挑戦
②SCC	地域家縁型デイサービスの実現
③MCC★	事業を超えていく
④ACドメイン 運営本部	キャリアパス導入について
⑤AC Cap会	Capの真価～次の30年を創る為に～
⑥AC Vcp会	顧客感動の追求～Re:Start～
⑦大阪Co レッドインクル・ブルーWAVE合同★	きょうどう社会の創出 ～働けるホームを目指して～
⑧北緑丘コミュニティ	介護施設における長寿傾向の要因分析 ～健康長寿を支える環境とは～
⑨アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台	ALHサービスの実践と追求～原点回帰～
⑩ケアハウス豊泉家 桃山台	ケアハウス豊泉家 桃山台の新たな可能性 ～自ずと売れる為の魅力とは～
基調講演 認知症ケア研究会	認知症ケア豊泉家メソッドの実践に向けた アセスメントの重要性

MCDメイン	テーマ
①スマイルローズ★	患者様の足を守るために ～フットケアによる抜爪予防と異常の早期発見～
②ハッピーローズ	看護師の人財確保と定着するための職場環境
③スカイローズ★	新体制となった緩和ケア病棟の評価と今後の課題 ～遺族調査を通して～
④放射線科★	胸部X線画像病変検出ソフトウェア (CXR-AID)の使用経験
⑤コメディカル:NPC-PJ	健診データから患者を当院外来へ繋ぐ新システムの開発 ～健診/LaBost事業へのNPC-PJチームからの提案～

講師名	所属・講話タイトル
溝畑 宏	公益財団法人 大阪観光局 理事長 「2025年大阪・関西万博開催、IR開業を見据えた、 日本再生・地方創生・観光立国」
小西 光彦	公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 東大阪モラロジー事務所 代表世話人 「介護は最後の子育て」
粕井 隆	東邦ビジネスコンサルタント株式会社 代表取締役 「戦後80年 今、日本の未来を考える」
田中 成和	豊泉家グループ代表 会長 「すべてにイノベーションを」～The Next 30 Years～



今後、成和塾を通じて、
個人・チーム双方の成長と豊
泉家の未来について考えを深
めてまいります。

記者…福井 晴香

2025年8月度 豊泉家大賞・フェロー大賞月間賞

豊泉家フェロー大賞

AC(介護)ドメイン

勤務5年目を迎え、日々の業務に誠実に取り組み、周囲の信頼を集めています。仕事と家庭を両立し、常にチームの員として協力的に行動する姿は、他のフェローへの模範となっています。その前向きな姿勢と支え合う心は、職場全体の活力となり、円滑な業務運営に寄与しています。

また、地域のお祭りに待機看護師として参加するなど、地域貢献にも積極的に取り組んでおり、その姿勢が高く評価されました。

社会福祉法人 福祥福祉会
桃山台コミュニティビークレスト
松宮 恵里子フェロー

AC(介護)ドメイン

デイサービスセンター 豊泉家 北緑丘RCCのヘルプ業務に3か月間休まず取り組み、異なる視点からの学びや経験を自身の成長につなげてきました。

また、R&D発表会に挑戦する前向きな姿勢は、周囲にも良い影響を与えています。さらに、所属チームではジェルネイルクラブを担当し、ご利用者の笑顔を引き出す取り組みを実践しています。こうしたひとつの姿勢と行動が高く評価されました。

社会福祉法人 福祥福祉会
住之江コミュニティ SCC
大谷 真由フェロー

第21回 豊泉家R&D(研究・開発)発表会

第21回豊泉家R&D(研究・開発)発表会(以下、R&D)をACドメイン大会は8月18日(月)、MCDメイン大会は8月25日(月)に開催いたしました。

R&Dとは、顧客の皆様へより高い品質の「顧客感動サービス」の提供を目的とし、豊泉家グループ全フェローが新規サービスの開発や改善事項を挙げ、社内プレゼンテーションを行う発表会です。大会終了後に厳正なる審査が行われ、課題目標設定力(アイディア力)・表現力(実現力)・感動力(表現力)の3つの審査を以て、グループ大会へ選出されました。

グループ大会は、12月5日(金)に開催予定です。(★印がグループ大会選出チーム)



第86回豊泉家クォーターカンファレンス

開催日…8月15日(金)
会場…アシステッドリビングホーム 豊泉家 桃山台4階
ゴールデンルーム

豊泉家クォーターカンファレンスは、経営幹部や現場のリーダー等を対象とし、年4回(3か月に1度)予防医療・介護・ビジネス等様々な分野の講師にお越しいただき、講師の方の経験や大切にされていることについてお話いただき、学びを持ち帰ることでサービスの向上、フェローの成長へ繋げることを目的として開催しております。当日の研修内容は左記表をご覧ください。

豊泉家グループ代表 会長 田中 成和

第5回「成和塾」開塾

8月14日(木) 桃山台コミュニティにて、第5回成和塾が開催されました。

今回は「成和塾で個人が成し遂げたい2040年までのキャリアプラン」と「成和塾でチームとして成し遂げたいプラン」をテーマに発表を行いました。

個人発表では、前回の内容やフィードバックを踏まえ、より具体的な取り組み内容や計画を示すことに挑戦しました。目標と実際の行動を結びつける難しさを感じつつも、自身の未来を見据え、達成に向けて何をすべきかを改めて考える貴重な機会となりました。

チーム発表は、今期から始まった新たな取り組みとなり、職種や立場の異なる塾生が多様な視点を持ち寄り、行動計画や目標を組み立てました。異なる視点だからこそ得られる気づきがあり、協力し合うことで生まれる価値を実感する時間となりました。

今後、成和塾を通じて、個人・チーム双方の成長と豊泉家の未来について考えを深めてまいります。

記者…福井 晴香

